

「あかし市民自然図鑑」

海浜植物とそれにつながる生きもの調べ



あかし生物多様性調査

しみん
しぜん
ずかん

市民が創る自然図鑑

昨年8月に実施した観察に続き、花が一番多い5月に 海岸の生きもの調べを行いました。海浜植物、またその植物にどんな昆虫が共に暮らしているのかを観察しました。

主催：エコウイングあかし
講師：竹上秀巳氏、福島秀毅氏

開催日：平成27年5月6日（水）祭日
時間：9時～12時
対象：エコウイングあかし・自然GR会員

観察ゾーン：藤江海岸⇄松江海岸 往復 約2km

参加者：会員11名、学校関係者7名



ハマヒルガオの群生



コウボウムギ



ハマボウフウの葉にキアゲハの若齢幼虫



コウボウシバ



ツルナ



ハマダイコン

花も大半終わり、実ができていた

砂浜にいる甲虫



オオスナゴミムシダマシ



ハマダンゴムシ
陸上のオカダンゴムシより一回り大きい
(観察日当日は発見できず)



アリジゴク (ウスバカゲロウの幼虫)



ビニール袋に入れて観察

ハチの仲間

キムネクマバチ
ホバリング中



オス 針なし
メスを待っている

その他、ニッポントゲアナバチ、サクラトゲアナバチ
ハキリバチ科のイマイツツハナバチ これらも観察されました



外来種の侵入、拡大が更にひどくなっています。
北米太平洋から船に付着、バラスト水から侵入



一番多く見られるコマツヨイグサ
(要注意外来種)



シマメノウフネガイ
(貝殻が波打ち際に多数見られた)



種



メマツヨイグサ
(要注意外来種)

次回は、8月後半から9月に「秋の海岸生きもの調べ」を開催します。